

## 土居昌弘の大分県議会議員活動報告

## 羽ばたき

平成29年  
第18号

## 民主主義の挑戦!! 輝き合う社会を求めて

編集：土居昌弘

発行：大分県議会自由民主党

土居昌弘連絡事務所 〒878-0005 竹田市挾田670番地  
TEL 0974-62-4848 FAX 0974-63-0124土居昌弘公式ホームページ  
http://doi-masahiro.net/平成29年度竹田土木事務所  
事業別当初予算(一部紹介)

(単位:万円)

● 県道竹田直入線(鏡工区)改良事業	12,800
(植木工区)改良事業	14,700
● 県道白丹竹田線(下志土知工区)改良事業	4,500
(飛田川工区)改良事業	5,200
● 県道神原玉来線(中尾工区)改良事業	2,700
● 国道442号(久住拡幅Ⅱ(県境))改良事業	5,000
● 県道庄内久住線(塩手工区)改良事業	5,000
(久住工区)交通安全事業	10,300
(仏原工区)改良事業	8,900
● 県道小川穴井迫線(川床)災害防除事業	2,300
● 濁淵川(会々)総合流域防災事業	3,000
● 下矢倉川(君ヶ園)火山砂防事業	1,300
★ 地すべり(瀬の口)対策事業	1,000
★ 急傾斜(河宇田)対策事業	2,500
★ 急傾斜(上下木)対策事業	2,700
★ 急傾斜(次倉中央)対策事業	2,000
★ 急傾斜(殿町)対策事業	3,300
★ 急傾斜(濁淵)対策事業	700

※その他の事業進捗状況や新規事業などにつきましては、土居昌弘までお問い合わせください。

## 安全安心と元気を大分県に

大分県議会平成29年第1回定例会が3月末に閉会。平成29年度大分県当初予算案6、098億円を議会は可決し、今年度がスタート。「安心・活力・発展」の大分県づくりに向け、中長期的な視点を持った取り組みの充実により、「おおいた創生」を加速する4年連続のプラス予算です。

当初予算の基本方針として①熊本地震からの復興と景気回復 ②国民文化祭や全国障害者芸術・文化祭、ラグビーワールドカップ2019の準備の本格化 ③3年目を迎える「安心・活力・発展2015」の取り組み強化 ④国・地方をあげて取り組んでいる地方創生について、本県の取り組みをさらに加速を掲げ、それぞれの事業を実施していきます。さらに、6月13日開会の第2回定例会では

土砂災害対策や治水対策を予算計上し、防災・減災対策に力を傾注。7月25日には玉来ダム本体工事の起工式も執り行われ、竹田市の防災力整備も着実に進んでいます。また、菅生に豚舎を建設する畜産クラスター事業については、議会は可決しましたが、環境面など不安を感じている周辺地域の市民もいらつしゃいます。今後は、この懸念や不安をどう払拭していくかを考える必要があります。

地震に豪雨など、自然災害の脅威を身にかけて感じている私達、竹田市民。防災・減災対策や暮らしの安心を、さらに向上させていかなければなりません。そのためには、市民と行政と議会の関係性が大事。しっかりとお互いが協議をしながら、豊かな大分県、よりよい竹田市のために知恵を絞っていきましょう。



台風による強風で、なぎ倒された畑のスイートコーン。とうきびフェスタ in 菅生の開催はあやふまれましたが、皆様のご努力で予定通りに開催。大盛況でした。



7月25日に玉来ダム本体工事起工式が執り行われました。地権者をはじめ、地元の皆様のおかげさまで、ここまで来ました。早期完成と安全な施工を願っています。

# 大分県議会 平成29年 第1回定例会 土居昌弘一般質問

平成 29 年度の当初予算を決める第1回定例会において、竹田市が抱える問題のうち

- ①防災対策 ②障がい児者の歯科診療 ③精神科救急医療
  - ④三重総合高校久住校の教育 ⑤特別支援教育
- の5つの項目で一般質問をしました。

先日、精神疾患を患う一人の竹田市民から「県立精神科病院の建設を急いでください。夜間休日に駆け込むところがなく、とっても苦しいです」と言われ、よりいいものを、より早くつくらなければと改めて認識したところです。

問答を繰り返し、大分県の施策はより充実したものとなってきてはいますが、もつと施策の質の向上を図っていかねればなりません。市民の暮らしを見つめ、課題を分析し、その解決に向けて、引き続き精進を重ねてまいります。



8月1日に大分県議会で、日田市の被災状況を調査。九州北部豪雨により竹田市も被災。昨年の地震に、今年の豪雨。自然の脅威は容赦なく、私たちの暮らしを襲います。その時に自分はずればよいのかを学ばなければなりません。

## 自助共助の意識を高めよう

### 土居質問

近年、災害が多発していることから、防災教育の徹底を説く声は高まっている。しかしながら防災教育の現状を見ても、多くは依然として「点」レベルの一過性の教育にとどまっている。災害大国でありながら、日本では防災教育が制度化されていないため、住民の危機意識や当事者意識は非常に低い。現状の「点」レベルを、「面」あるいは「層」レベルまで持っていった持続的な教育が必要。国がしないのであれば、県から始めていこう。

### 広瀬知事答弁

自助の意識を一層醸成していくためには、自主防災組織の活動を通じた取り組みが必要だと考えている。竹田市の下矢倉地区では昨年度、地域住民と防災士が一緒に、防災まち歩きや避難カートの作成などを実施。今年度はこの下矢倉地区の住民が中心となり、市内全域にこの取り組みを普及させる。

### 工藤教育長答弁

災害時に自ら判断して行動選択できるよう、社会、国語、理科、英語などの各教科や避難訓練を通じて防災教育を実施している。これらの取り組みを充実させるために、児童の発達段階に応じた教育が必要だ。そのことから、学校における体系的な防災教育の指針となる手引きの作成を進めている。

## 障がい児者にも 歯科診療を

### 土居質問

長年質問し続けてきた障がい児者の歯科診療の問題だが、ついにその体制整備の事業予算が計上された。これは一筋の光明だ。一刻も早い診療開始が待たれる。この事業の内容と診療開始はいつになるのかを聞かせて。

### 広瀬知事答弁

大分県歯科医師会が施設を整備することにより、地域の歯科医では対応が困難な方に対する歯科診療を専門的に行うとともに、臨床研修の機能も持たせ、障がい児者に対応できる地域のかかりつけ歯科医の育成を図る。診療開始は来年3月の予定だが、要望も高まっていることから、極力早期の開設にこぎつけた。

## 質の高い 精神科救急を

### 土居質問

平成32年度に県立の精神科を開設しようと、ハード面の整備は着実に進んでいる。しかしながら、ソフト面の取り組みが、まだ見えてこない。昨年3月29日に、精神科設置に向けた基本構想をとりまとめたから動きがないうつだ。

基本構想に盛り込まれた「精神科救急情報センター」については、構想策定の当初は精神障がい者や家族から直接センターに相談できるようにしていた。ところが構想の最終版では、その両者の間に民間精神科病院の輪番制による相談窓口が入り、障がい者や家族は一度そこに相談することになっている。県は精神科救急医療体制をどう整備しようと考えているのか。

### 草野福祉保健部長

整備にあたっては、次の2点が重要。1つは、電話相談に応じる相談窓口の24時間365日対応を実現すること。2つ目は、この相談窓口、必要に応じ相談者の症状に適した医療機関につながる機能を持たせること。そのためには、つなぎ先医療機関の確保が不可欠であり、県立病院と民間精神科医療機関とが、協力・連携し、常時受け入れ可能な体制を構築する必要がある。この2点を柱にスピード感を持って、精神科救急医療体制の充実を図っていく。



平成26年1月22日に京都府歯科医師会を訪れ、障がい児者の診療体制を調査。ついに大分県版が誕生します。



5月25日に福祉保健生活環境常任委員会で県立病院へ。精神科設立に向け、協議は深まります。

## 土居要望

県が重要視している2点目のトリアージ機能。患者からの相談を電話相談センターで一度受けてトリアージして、民間病院で対応できるときは民間で、そうでないときは救急情報センターに、という段階を踏まなければならないしくみは本当に救急なのか。トリアージの質を担保し、その機能を十分發揮していくためにも、電話相談センターでトリアージするのではなく、救急情報センターにトリアージ機能を持たせて欲しい。

※トリアージ：負傷者を重症度、緊急度などによって分類し、治療や搬送の優先順位を決めること。精神科では、命や健康を損なう状態の人がトリアージの高い人。衝動的な行為による自傷もあるので、当然緊急対応もある。

## 直の農業教育を 久住校で

### 土居質問

県下唯一の農業系単独校である三重総合高校久住校。その教育のあり方について再三質問をし、改善を求めてきた。そして、ついに平成29年度に変化が見える。地域農業の振興と地域活性化を担う将来の若手リーダーを育成していくために、県教育委員会は、この久住校をどうのようにしていこうと考えているのか。

### 工藤教育長答弁

久住校に、くじゅうアグリ創生塾（仮称）という研修施設を建設する。ここでは、経営感覚に優れ、付加価値の高い商品づくりができる人材を育成するとともに、県内9校全ての農業高校生がここで研修できるようにすることから、将来の県農業を支えるチームづくりにも寄与できると考えている。

そのため、施設園芸から畜産まで多様な経営形態が集積する久住の立地条件を活かして、生産から流通まで幅広い実体験ができる研修プログラムを構築したい。今後、竹田市とも、よりよい運営に向け、十分協議をしていきたい。



9月に開催の全国和牛能力共進会宮城大会の高校生部二部門で、久住校が県代表権を手にしました。おめでとうございます。「うし部」の生徒達は、毎日放課後に牛の世話をしています。県代表として、全国大会でも頑張ってください。



久住校の体験入学が8月4日に開催されました。県下各地から69名の中学3年生が参加して、生まれて初めての経験をしています。ドキドキをワクワクに変えながら、皆さん素敵な笑顔です。



# ホームページやFacebookでも議員活動を常時発信しています。 ご覧いただければ幸いです。

7月の活動の様子。土居昌弘で検索してください。☺

2017年7月3日

## 今朝は畜産共進会 竹田地区予選会 会場は闊志と暑さで熱気が

今朝は畜産共進会竹田地区予選会。会場は闊志と暑さで熱気が。皆さん、頑張ってください!

昼からは豊後牛生産者協議会の総会です。挨拶で生産者の嫌なことに触れたかも。反省しています。

夕方は、やまおか在宅クリニックで、山岡先生と在宅ホスピスについて話し合い。九州一在宅看取りが多い先生。爽りも多いひとときとなりました♪



2017年7月4日

## 台風被害を調査 とうきびフェスタが開催される 菅生のとうきび畑

県庁から竹田市に戻って、台風被害を調査。今月16日(日)に、とうきびフェスタが開催される菅生。とうきび畑が悲惨な事に。

強風で皆倒れています。今年はずかしくよかっただけに、ダメージは大きい。しかし、農家の方々は「頑張るしかない」と。直売している美味しいとうきびをいただきながら、私の方が逆に元気づけられています。凄いです、菅生!



2017年7月14日

## 九州中央3県(熊本・宮崎・大分) 議員連盟の要望活動

昨日は大分空港便が欠航。北九州空港から、なんとか上京しました。

九州中央3県(熊本・宮崎・大分)議員連盟の要望活動です。

国土省では石川道路局長に中九州横断道路の早期完成と国道57号の早期復旧、江口鉄道局長官房技術審議官には久大本線花月川鉄橋と豊肥本線阿蘇間の早期復旧などをお願い。

いい話ができました。さあ、今日も一日頑張ります!



2017年7月16日

## すべてが晴れた♪ とうきびフェスタin菅生! 入田では、河川プール開き♪

とうきびフェスタを毎年手伝ってくれる芸術短期大学生。皆さんに感謝します!

また、入田では、河川プール開き♪冷たい水のせいか、笑い声のトーンが上がっています。

さらに瀧廉太郎記念館近くのギャラリー傾く家では、小国町の陶芸家 北川麦彦さんの特別企画。

竹田はおもしろい♪



2017年7月28日

## 毎年恒例の 大分県議会 自由民主党 要望活動

国は、来年度予算案の編成に突入。

8月末の概算要求に向け、毎年恒例の大分県議会自由民主党の要望活動。

県民の願いを国の予算に反映させるため、昨日今日と省庁をまわり、大臣や副大臣などと折衝しています。

農水省では大臣に農業基盤の整備を、文科省副大臣には教員の加配を定数へなど、多岐にわたるお願い。頑張ります!



2017年7月31日

## 竹田高校の要望を 県教育長に伝えました

来年度の県下の高校1年生の数は、今年度より400人以上減少。

つまり、40人学級で10クラス不要。簡単に言うのです。

本日は、竹田高校の要望を県教育長に伝えました。

竹田は4年連続定員割れ。竹田高校PTAの姫野会長と打ち合わせをし、会場へ。

厳しい環境のなか、定員を満たしつつある竹田高校。

あと一歩!魅力づくり力が入ります!

